



# 茨城大学 1dayキャンパス

## in 守谷



茨大が守谷にキャンパス

「農&食のグローバル化への地域のチャレンジ」

日時

2017年11月4日(土)  
13:30~16:00 (13:00開場)

場所

守谷市中央公民館  
(守谷市百合ヶ丘2-2540-1)



守谷駅から  
徒歩10分

対象：どなたでも無料でご参加いただけます

主催：茨城大学

共催：一般社団法人 国立大学協会

後援：守谷市、茨城県、一般社団法人 もりや循環型農食健協議会

入場  
無料



国立大学2017



イバダイ  
体験コーナー

**スペシャル講義**

『世界の食糧事情が変わる!? グローバル食ビジネス最先端』  
講師：清水 洋史 氏  
不二製油グループ本社(株) 代表取締役社長・CEO

**リレーミニ講義**

1限目  
宮口 右二 氏  
茨城大学 農学部 教授

2限目  
横田 修一 氏  
(有)横田農場 代表取締役

清水 洋史 氏  
不二製油グループ本社(株) 代表取締役社長・CEO

伊東 明彦 氏  
一般社団法人 もりや循環型農食健協議会 (もりあく) 代表

**パネルディスカッション**  
『みんなで語ろう茨城の農業の未来』

モデレーター：  
宮口 右二 氏  
茨城大学 農学部 教授

横田 修一 氏  
(有)横田農場 代表取締役・茨城大学 卒業生

小松崎 将一 氏  
茨城大学 農学部 教授

食の市場のグローバル化、AIを活用した効率的な農業への変革は、全国2位の生産高を誇る茨城の農業にも大きなインパクトを与えています。地域の食のインフラを持続していくために私たちはどんなビジョンをもつべきなのでしょう。

今年9月、守谷市と茨城大学農学部は農業を切り口とした地域づくりのための連携協定を結びました。そこで今回は、「1dayキャンパス」として茨城大学が守谷市にお邪魔し、まさに大学のキャンパスのような雰囲気、地域の食・農の未来を考える講義やディスカッションを展開します。

野菜市や中学生・高校生向けのコーナーもご用意していますので、ご家族でもお楽しみいただけます。あなたのご近所の1日だけの大学キャンパスへ、ぜひお越しください！



# 茨城大学 1dayキャンパス in 守谷

## 「農&食のグローバル化への地域のチャレンジ」

### TIME TABLE

13:00	<b>開場</b>
13:30	<b>開会</b> 開会挨拶：茨城大学長 三村 信男 氏 守谷市長 松丸 修久 氏
13:35   14:20	<b>第1部 スペシャル講義</b> 『世界の食糧事情が変わる!? グローバル食ビジネス最先端』 講師：清水 洋史 氏 (不二製油グループ本社(株) 代表取締役社長・CEO)
14:20	<b>配置換え</b>
14:25   15:05	<b>第2部 リレーミニ講義</b> 1限目 宮口 右二 氏 (茨城大学 農学部 教授) 2限目 横田 修一 氏 (有)横田農場 代表取締役・茨城大学 卒業生)
15:05	<b>休憩</b>
15:15   15:55	<b>第3部 パネルディスカッション</b> 『みんなで語ろう茨城の農業の未来』 清水 洋史 氏 (不二製油グループ本社(株) 代表取締役社長・CEO) 伊東 明彦 氏 (一般社団法人 もりや循環型農食健協議会(もりあく) 代表) 横田 修一 氏 (有)横田農場 代表取締役・茨城大学 卒業生) 小松崎 将一 氏 (茨城大学 農学部 教授) モデレーター：宮口 右二 氏 (茨城大学 農学部 教授)
15:55	<b>閉会</b> 閉会挨拶：茨城大学 農学部長 久留主 泰朗 氏
16:00	<b>終了</b>



講師：清水 洋史 氏

不二製油グループ本社株式会社  
代表取締役社長・CEO

長野県出身。1977年に不二製油に入社。2013年に不二製油株式会社の社長に就任後、2015年からの持株会社体制への移行により現職。不二製油グループは、油脂、製菓・製パン素材、大豆の三事業を軸に、おいさと健康を実現するための食品素材を開発、生産、販売する事業を、世界各地域に広く展開している。茨城県内では、つくば研究開発センター(つくばみらい市)、関東工場(笠間市)、たん白食品つくば工場(坂東市)といった事業拠点をもっている。



宮口 右二 氏

茨城大学 農学部 食生命科学科  
教授

長崎県出身。1991年茨城大学大学院農学研究科を修了後、食品メーカーに勤務。その後1998年に九州大学大学院で博士号(農学)を取得。専門は畜産学、畜産物利用学、食品化学で、主に畜産物の加工・貯蔵や機能性に関する研究などを行っている。現在、茨城大学大学院農学研究科農学専攻長を務めており、守谷市と茨城大学農学部の協定においても学内で中心的な役割を果たしている。



横田 修一 氏

有限会社 横田農場  
代表取締役

茨城大学農学部卒業。横田農場では、龍ヶ崎市でお米をメインとした大規模農場経営に取り組み、無農薬有機栽培にも挑戦。2009年からは米粉スイーツの製造・販売も行うなど、お米に関するさまざまな取り組みを続ける。2013年には第62回全国農業コンクールで名誉賞・農林水産大臣賞、第52回農林水産祭農業部門で最高賞の天皇杯をそれぞれ受賞した。大学時代は熱気球のサークルでパイロットを務め、大会で好成績を残した経歴も。



伊東 明彦 氏

一般社団法人 もりや循環型  
農食健協議会(もりあく) 代表

都内の企業に勤めるかたわら、守谷市の農産物や加工品を応援するため、2015年に「もりや循環型農食健協議会」、通称「もりあく」を発足。代表を務める。農業・農産物・地元産を使用した加工品・地場産品応援店を地域資源として、認知度アップ・イメージアップや販路の拡大で守谷を盛り上げることを目標とし、朝市への出店やグリーンツーリズムの企画・運営、商品開発などを行っている。



小松崎 将一 氏

茨城大学 農学部附属  
フィールドサイエンス教育研究  
センター 教授・センター長

茨城大学卒業。筑波大学で博士号(農学)を取得。専門は農業環境工学、農作業学。緑肥やカバークロップを利用した環境保全型農業や有機農業技術について研究している。また、食品残渣のコンポスト化など食と農の循環に関する取り組みも行っている。大学農場を活用して、家庭菜園講座や園芸療法などの実践を通じて“生態的に健全な農業が地域を豊かにする”取り組みを行っている。平成29年度日本農業工学会賞受賞。



お問い合わせ

茨城大学 農学部

茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1

Tel. 029-887-1261 (代)

<http://www.ibaraki.ac.jp/>



茨城大学では、「地域再生の知の拠点となる大学、その中で世界的な強み・特色が輝く大学」を目指してさまざまな取り組みを進めています。その成果を社会に広く発信する機会として、地域の多様な場へ出向き、それぞれの地に根ざして教育や研究の取り組みを知ってもらう企画が、「茨城大学1dayキャンパス」です。